

一般講演Ⅳ

座長：岡田 弘（獨協医科大学埼玉医療センター）

Ⅷ 難治性泌尿器科疾患に対する帰耆建中湯 （黄耆建中湯合当帰建中湯）の効果

LUNA 骨盤底トータルサポートクリニック¹⁾
女性医療クリニック LUNA ANNEX²⁾
女性医療クリニック LUNA 心斎橋³⁾
横浜元町女性医療クリニック LUNA⁴⁾
横浜市立大学大学院医学部 泌尿器病態学講座⁵⁾

関口 由紀^{1) 3) 5)}、中村 綾子^{1) 5)}、前田 佳子¹⁾
榎本 香織¹⁾、藤崎 章子¹⁾、小林 愛²⁾、二宮 典子³⁾
大林 美貴³⁾、槍沢 ゆかり⁴⁾、矢尾 正祐⁵⁾

【緒言】

黄耆は、人參とともに代表的な補気薬の一つである。漢方処方の中補中益気湯・十全大補湯・防己黄耆湯・黄耆建中湯などに配合されている。疲労倦怠・胃腸虚弱・内臓下垂・皮膚化膿症などに用いられる。帰耆建中湯は、日本人の華岡青洲の創製の処方とされ、適応は、虚弱な患者で慢性に経過する膿瘍や瘻孔のあるもの。手術後の肉芽発生不良のもの。外傷の治りが悪いものとされている。

今回は、この帰耆建中湯の方位として黄耆建中湯合当帰建中湯を処方し経過良好な、難治性の泌尿器科疾患の症例を提示し、黄耆の可能性に関して論じたい。

（症例1）44歳女性 主訴：尿失禁

（既往歴）30歳の時に重症尿失禁で、TVT（テンションフリーテープ）手術施行。術後1年目にテープの膀胱内の露出あり、テープ除去+尿道筋膜スリング術施行。その後膀胱内結石が、4回発生。4回内視鏡による膀胱摘出術施行。4回目に、尿道腔瘻発生。その後結石は発生せず。

（現病歴）膣からの尿流出に対して、保存的に治療開始。ツムラ黄耆建中湯9.0g+ツムラ当帰建中湯7.5gの投与開始。約1年の投与で尿漏れは、改善した。

（症例2）43歳女性 主訴：膣のゆるみ、尿失禁

（既往歴）主訴に対して、フラクショナル炭酸ガスレーザー治療をしたが、症状改善せず。

（現病歴）レーザーによる膣縮小術を希望され来院した。膣縮小術を施行したところ、1週間後創部感染が明らかになり、創部離開発生。再縫合+抗菌剤投与1週間+ツムラ黄耆建中湯9.0g+ツムラ当帰建中湯7.5gの投与開始。約2週間で、症状改善し、2か月間投与後、終了した。

（症例3）27歳女性 主訴：性器出血

（現病歴）2年前にタイで、反転法によるMTF（MALE TO FEMALE）の性転換手術を受けた。2週間前から性器出血あり。たまたま訪日していたタイの医師による診療を受けたところ、膣内腫瘍がありそこから出血しており、尖圭コンジローマの可能性もあるが、悪性腫瘍の可能性も否定できないと説明されということで当院受診した。

（現病歴）膣内に全周性に膣口から子宮頸部付近まで、易出血性の直径2-3mmの腫瘍が密集している。

（経過）一部を切除し、病理検査したところ、尖圭コンジローマの診断だった。静脈麻酔下局所麻酔で、可能なかぎりコンジローマを切除した。1週間後から、5FU軟膏の膣内塗布を開始、ツムラ黄耆建中湯9.0g+ツムラ当帰建中湯7.5gの投与開始。2か月間の投与で、再発認めないため局所投与は中止とし、現在漢方薬だけで経過観察中である。

【考察】

帰耆建中湯は、泌尿器科手術後の瘻孔の治癒、感染。感染症治療後の免疫力改善などに有効であった。黄耆は、利尿・強壯・血圧降下などの効果があるとされているが、さらに末梢血管拡張による組織の再生、免疫力調整による感染症の症状改善等により、現代医学では難治性の疾患の治療に寄与すると考えられた。